

JMIU第52回全国大会大会宣言

JMIUは7月12日～13日、第52回定期全国大会を開催し、2014年春闘をはじめとする一年間のたたかいを総括するとともに、2015年度運動方針を確立しました。

2014年春闘では、消費税増税による生活悪化と消費不況への不安の高まりを背景にした大幅賃上げを求める社会的世論を積極的に活用し攻勢的なたたかいを展開し、財界の「春闘終焉」論を乗り越え、「春闘再生」へ一歩近づくことができました。

大会の討論をつうじて、要求をあきらめず産別に結集してみんなで力をあわせて奮闘すれば運動は前進すること、どんなに困難な職場でも組合員を拡大することはできるということ、若者が春闘など労働組合活動の先頭で奮闘し職場に変化が現れていることなどが明らかとなり、たたかいのあらたな展望が見えてきました。これらの教訓と課題を全支部・全組合員のものとし、要求実現と組織建設に総力をあげなければなりません。

いま、「戦争をする国」づくりと「大企業が自由に活動できる国」づくりという安倍政権の暴走政治とのたたかいが重要な山場を迎えています。

安倍政権は、“集団的自衛権容認”の憲法解釈変更の閣議決定を踏まえ、今後、自衛隊が戦闘地域で武力行使することに歯止めをかけている一連の法律を一気に改悪し、アメリカの戦争にいつでも参加できる国づくりをすすめています。また、6月24日に発表された新「成長戦略」には、残業代ゼロ法や首切り自由の労働法制大改悪、法人税の大減税が書き込まれました。通常国会で廃案になった生涯派遣、正社員ゼロを企む労働者派遣法大改悪もあらためて臨時国会での強行突破を企んでいます。消費税の10%への増税も強行しようとしています。

2015年度はこうした安倍政権による平和・民主主義、雇用とくらしの破壊との全面対決の年です。憲法改悪と戦争をする国づくり、消費税増税と労働法制大改悪阻止のたたかいとともに、組織建設を前進させ、労働組合の団結の力で安倍暴走政治を職場に持ち込ませず、労働者のくらし、雇用、職場をまもるたたかいに総力をあげます。

今年、JMIUは結成25年を迎えました。今年度こそ、要求と運動の前進とともに、組織拡大に全力をあげ、組織の飛躍的な前進をかちとり、JMIUの未来を切り開く年とすることを決意し、宣言します。(2014年7月13日)